

報道関係者各位(参考情報)

2017年(平成29年)11月15日

## 「みんな違ってあたりまえ」 ダイバーシティ推進 スローガンを策定

株式会社ファンケルはこのほど、ダイバーシティ(=Diversity、多様性)推進のスローガンと方針を策定しましたのでお知らせいたします。スローガンは「みんな違ってあたりまえ」で、方針は「様々な価値観や考え方を持つ多様な人材が個性や能力を発揮し、新しい価値を生み出し続けることを目指しています。」と決めました。当社グループには、長年にわたり、性別、年齢、国籍、雇用形態、障がいに関わらず、多様な人材が活躍してきた実績があります。新しいスローガンはさらに『ダイバーシティ経営』を追求して、企業価値を向上していくために策定したものです。今後、自社のホームページなどを通じて、社内外に広くアピールしていきます。

### ◆『ダイバーシティ経営』と当社の取り組み

近年、ダイバーシティを経営に取り入れる動きが進んでおり、経済産業省のホームページでも「女性をはじめとする多様な人材の活躍は、少子高齢化の中で人材を確保し、多様化する市場ニーズやリスクへの対応力を高める『ダイバーシティ経営』を推進する上で、日本経済の持続的成長にとって、不可欠です」とその重要性が強調されています。

当社グループでは1980年の創立期から、女性パート社員を積極的に雇用し、女性の活躍を通じて事業を拡大してきたことや、1999年に障がいがある方の自立支援を目的に特例子会社「ファンケルスマイル」を設立して、障がい者雇用を積極的に進めてきました。直営店舗では中国人観光客への接客サービス向上のため、中国籍の店舗販売員を雇用するなど、『ダイバーシティ経営』を推進してきました。

こうした実績を踏まえ、『ダイバーシティ経営』をさらに追求して、企業価値を向上していくために、スローガンと方針を策定しました。今後、自社のホームページなどを通じて社内外にアピールし、スローガンと方針を浸透させてまいります。

### ◆ファンケルグループ 『ダイバーシティ経営』スローガン・方針

<p><b>【スローガン】</b> 『みんな違ってあたりまえ』</p>
<p><b>【方針】</b> 「人間大好き企業」のファンケルグループは、 『みんな違ってあたりまえ』というスローガンのもと、 様々な価値観や考え方を持つ多様な人材が個性や能力を発揮し、 新しい価値を生み出し続けることを目指しています。</p>

(参考資料)

◆ファンケルグループのダイバーシティへの取り組み実績 (2017年3月31日時点)

女性の活躍 ※ファンケル 単体	女性管理職比率 (店舗管理職 含む)	45.9% (84名/183名)	トピックス ①2014年東京証券取引所の「2014年度 企業行動表彰」(女性活躍の推進に向 けた積極的な取り組みでの受賞) ②2015年内閣府の「平成27年度女性が 輝く先進企業 内閣府特命担当大臣 (男女共同参画)表彰」を受賞
	女性従業員比率	67.3% (636名/945名)	
	女性役員比率	20% (5名/25名)	
外国籍の勤務者 (パート含む) ※ファンケル単体		67名 (男性3名、 女性64名)	トピックス 主に店舗販売員(58名)として活躍
60歳以上の勤務者 ※ファンケル単体		32名 (男性8名、 女性24名)	トピックス 2017年4月よりアクティブシニア社員 制度を新設し65歳以上でも働き続け られる環境を整備 (本年10月1日時点で5名在籍)
障がい者雇用数 ※特例子会社のみ ※法定雇用率2.0%		52名 雇用率2.42%	トピックス 障がいのある方の自立支援を目的に 1999年2月、特例子会社としてファン ケルスマイルを設立。 ファンケルスマイル以外でも製造会社 ファンケル美健の工場勤務(6名)や ファンケルの窓口部門(1名)、 店舗販売員(1名)が活躍。

◆ダイバーシティをめぐる社会状況との当社比較

①女性の活躍

女性の従業員比率は全国平均 24.6%に対し、当社は 67.3%、管理職比率は全国平均 6.9% (301人以上企業だと 5.2%) に対し、当社は 45.9%、役員比率は全国平均 9.3% に対し、当社は 20%。

②障がい者雇用数

民間企業における障がい者の雇用率は 2016年6月1日現在、神奈川県で 1.87%、全国では 1.92%だが、ファンケルグループは 2.42%と高い雇用率を維持。

本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先  
株式会社ファンケル 社長室 広報グループ  
TEL:045-226-1230 FAX:045-226-1202